庄内小通信

0

庄内小学校通信

第 48 号 2023 年 2 月 17 日

ゆ 夢をもち り 理想に向かって の 伸びやかに き 毅然と進む ゆりの木っ子

☆児童会の企画による「児童集会」を楽しみました。【2月15日(水)】















2月15日(水)の5限目に、体育館にて、児童会の企画・運営による「児童集会」を行いました。 はじめに、「あいさつ本の紹介」として、「ペネロペあいさつできるかな」と「ごあいさつはすご いど」の2冊の本を、児童会代表の二人が朗読をして紹介しました。

次に、児童会のメンバーが考えた「**庄内小学校クイズ**」を縦割り班で取り組みました。「今年の I 年が音楽で歌う曲は? ①赤い屋根の家 ②白くまジェンカ ③こぎつね」「単級学級交流会で庄内小が担当した活動は? ①キャンプファイヤー ②ウォークラリー ③入所式・退所式」など、学年に応じた問題をみんなで解いて楽しみました。

☆6年生「新入生オンライン説明会」 ~p学校区の取組~ 【2月6日(月)】

令和5年度に鈴峰中学校に入学する予定の4小学校(庄内・深伊沢・椿・鈴西)の6年生を対象に、chromebookを使ってオンラインで、鈴峰中学校の生徒指導担当の先生に各校から事前に提出してあった質問に答えて頂く形式で説明会を行って頂きました。

「学校生活について」「学校行事について」「学習について」「部活動について」「質問タイム」の順に、「委員会は何委員会がありますか」「下校時刻は何時ですか」「学校行事には、どんな行事がありますか」「毎日の宿題はどれくらいありますか」「日頃は、どんな勉強を進めたらいいですか」「朝練はありますか」など、たくさんの質問に丁寧に答えて頂きました。疑問に思っていることや不安に思っていることについて確かめることができたのではないでしょうか・・。最後には、4月から同級生となる4校の6年生が、カメラを通して手を振ってあいさつをして終わりました。

卒業までのカウントダウン・・。6年生には、小学校生活の一日一日を大事にしながら、 中学校に向けての準備を進めてほしいと思います。

☆「読み聞かせボランティア」さんを募集しています!【2月 16 日】







【2年】坂口さん

2月16日(木)は、古川さんに3・4年生 合同で、前回よりボランティアに参加して 頂いている坂口さんには2年生の「読み 聞かせ」をして頂きました。ありがとうご ざいました。

令和4年度になって,学生ボランティアさんに「読み聞かせ」をして頂くなど,

その月その月で工夫して取り組んで頂いてきました。しかし、残念なことに令和3年度の3月から計6名の方のご都合が悪くなり、「読み聞かせボランティア」をして頂ける方が大変少なくなってきました。お忙しいと存じますが、少しでも興味を持って頂ける方がいらっしゃいましたら、学校まで(TEL 371-0044)ご連絡いただけると幸いです。

「読み聞かせ」は、毎週木曜日の「朝の読書の時間」(8時25分~35分)に行って頂いています。使用する本は、ご家庭の本をお持ち頂いたり、図書館の本を選んで読んで頂いたりしています。月末にボランティアさん同士で、次の月の予定を確認して頂き、どの学年を担当するか話し合いを持って頂いています。見学からでも結構ですので、ご検討ください。子どもたちは、これまで、ボランティアの皆様のおかげで、静かに聞きいったり、笑ったりしながら「読み聞かせ」の時間を過ごせてきました。よろしくお願いします。

(お知らせ 1) 学級費の返金について

3月14日(火)·15日(水)の7時30分~17時00分に学級費の返金を行います。 お手数ですが,ご都合の良い日時に,職員室まで受け取りに来ていただきますようお

なお、この日時でご都合が合わない場合は、担任までご相談ください。

願い致します。当日、領収書に押印して頂くための印鑑をご持参ください。

【 お知らせ 2 】 鈴鹿市タイピング強化週間「めざせ! タイピングマスター」

タイピング速度を上げることで検索や文字入力にかかる時間を短くすることをねらいに、3年生~6年生を対象に、2月27日(月)~3月8日(水)の期間に、「プレイグラムタイピングうでだめし」のソフトを利用した取組を市内で行います。参加は自由となっていますが、タイピング時間の測定は学校で行い、結果の入力は3月9日か10日のいずれかで、1回のみの送信となっています。取組の仕方は各学年によって少し異なりますので、参加してみたいと思う人は、担任の先生にたずねてみましょう。

【 お知らせ 3 】「家庭学習強化週間の取組」をお願いします!

2月17日(金)~23日(木)の1週間,鈴峰中校区4小学校共通で「親子読書&ノーメディア強化週間」に取り組みます。3学期は,家庭での「読書時間の延長」と「スクリーンタイム(ゲーム,スマホ,TV の時間)の縮小」をねらいに取り組みます。これを機に「どんなことに時間を使っているのか」を知り見直すきっかけにして頂けたらと思います。